

(公財) 全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部
内規及び申し合わせ事項 (全国高校総体用)

(公財) 全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部 競技部

1 大会参加上の注意 (大会要項 7. 参加資格を参照)

- ①参加登録人数はチーム役員3名 (監督1名、役員2名とし引率責任者を含む)・選手14名 (14名出場可)までとする。ただし、ベンチ入りの際に役員3名及び選手は、(公財)日本ハンドボール協会に登録 (区分は高校)、大会申込書及びプログラムに記載されている者であること。なお、協会登録証を持っていることとする。
- ②参加申し込み後にやむを得ない事情により役員・選手を変更する場合は、必要書類を大会事務局宛に提出しなければならない。
- ③外国人留学生の参加は、大会登録選手14名のうち2名までとし、競技出場は7名中1名とする。
- ④同一学年での出場は1回限りとする。
- ⑤チームを編成する場合は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- ⑥統廃合の対象となる学校については、該当校を含む合同チームによる大会参加を認める。

2 引率責任者及びベンチの任務

- ①大会期間中の言動及び服装は役員として品位と節度あるものとし、ベンチに入る際はスラックス (スカート) あるいはスポーツウエアを着用し、体育館シューズを履くこと。
また、チーム役員3名は必ず指定のIDカードを身につけること。
チーム役員は、相手チームのコートプレーヤーとはっきり区別できる服装とする。
- ②ゲーム開始前には選手のユニフォーム・アンダーウェア・サポーター等の点検をする。
サポーター (バンテージ) は、金具・プラスチック入り製品 (アングルサポーターは除く) の着用は認めない。
顔面マスクは、いかなる素材であっても許可しないが、眼鏡タイプとソフトゴーグルタイプは使用を許可する。 (形状に疑問がある場合は、代表者会議で申告し、競技委員長が許可した場合は、使用が認められる。)
- ③ユニフォームの調整がつかない場合は、チーム番号の大きいチームが変更することとする。
- ④ゲーム開始前に公式記録用紙に確認のサインをすること。
- ⑤松ヤニ・松ヤニスプレーなどの使用制限についてはその趣旨を理解し、主催者側の規定を厳守すること。

3 応援について

- ①相手チームを誹謗したり挑発または侮辱したりする応援は慎み、良いプレーには敵味方にかかわらず賞賛のできる応援が望ましい。
- ②チーム横断幕は、ゴールエリアの後方には競技運営に支障があるため、張ることを禁止する。なお、その他の地域においても自チームの試合終了後は速やかに撤去すること。
- ③競技中におけるフラッシュ撮影は、競技運営に支障をきたすため、参加チームより応援者等に自粛をお願いして下さい。

4 使用球について

(公財) 日本ハンドボール協会検定球 (人工皮革) を使用する。

ボールの空気圧は、各試合前にTD、レフェリー、チーム役員の協議によって決定する。

(1) 奇数年度	男子	女子	(2) 偶数年度	男子	女子
第1日目	モルテン	ミカサ	第1日目	ミカサ	モルテン
第2日目	ミカサ	モルテン	第2日目	モルテン	ミカサ
第3日目	モルテン	ミカサ	第3日目	ミカサ	モルテン
準々決勝	ミカサ	モルテン	準々決勝	モルテン	ミカサ
準決勝	モルテン	ミカサ	準決勝	ミカサ	モルテン
決勝	ミカサ	モルテン	決勝	モルテン	ミカサ

5 チームトレーナー・ドクター及び通訳について

- ①役員 (3名) としてベンチに入ることを原則とするが、やむを得ず役員以外として希望する場合は、別紙参加届 (役員外) を指定された開催地事務局へ締切日までに提出すること。
また、届け出をして許可された者は、本部が指定した席に着席しなければならない。なお、治療等はTDにチーム責任者が申し出て、ベンチ後方で行うこととする。ベンチへの立ち入りはできない。

6 その他

- ・体育館内の電源を携帯電話・ビデオのバッテリー充電等に使用しないこと。
- ・チーム得点表示はハーフタイムで入れ替える。